

別記様式（第7条関係）

議会報告会実施報告書

開催日時	令和8年2月13日（金） 午後2時～午後4時	
開催場所	土浦市議会委員会室	
出席議員	司会者	矢口勝雄（広報広聴委員会委員長）
	報告者	目黒英一（総務市民委員会委員長） 田中義法（文教厚生委員会委員長） 今野貴子（産業建設委員会委員長）
	記録者	柳澤健二（総務市民委員会） 平岡房子（文教厚生委員会） 吉田直起（産業建設委員会）
		<ul style="list-style-type: none"> ・総務市民委員会（8名） 目黒英一、菅井歩美、古沢喜幸、篠塚昌毅 小坂博、奥谷崇、滝田賢治、柳澤健二 ・文教厚生委員会（8名） 田中義法、鈴木一彦、吉田千鶴子、勝田達也 矢口勝雄、福田勝夫、平岡房子、根本法子 ・産業建設委員会（8名） 今野貴子、吉田直起、竹内裕、寺内充 海老原一郎、平石勝司、下村壽郎、島岡宏明
参加人数	土浦市内立地企業 21社（21名）	
実施内容	<p>1. 議会からの報告 各常任委員会（総務市民委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会）からの活動報告</p> <p>2. 土浦市内立地企業との意見交換 （テーマと意見の要旨を記載）</p>	

主な意見
・提言等

1. 総務市民委員会 「環境保全対策について」

- ・企業が設置する貯水槽は、水道水を安定的に供給するための設備だが、災害時には生活用水等の供給源になり得るため、市と企業が災害発生時における給水協力に関する協定を締結するのはどうか。
- ・環境負荷軽減の基盤の一つである公共交通（バス）は、環境対策を進めるためにも、維持・確保について改めて検討していただきたい。
- ・不法投棄は、土壌や水質の汚染につながるおそれがあり、環境負荷を生じさせる重大な問題である。不法投棄を防ぐためには、防犯灯や防犯カメラによる監視体制の強化など物理的対策が有効ではないか。
- ・太陽光発電は、将来的に設備の撤去及びパネルの廃棄について適切な対応が求められる。事業終了後に不適切な処理が生じれば、それが環境負荷となることから撤去費用の確保や原状回復の仕組みを整えることが重要である。
- ・事業系ごみの適正な処理について、排出量や種類が多くなる企業があり、統一的な管理や分別の徹底が難しい側面がある。

2. 文教厚生委員会 「教育環境の整備・福祉について」

- ・通学路の除草を市に行っていたが、時期によっては歩道の草が子供の背丈以上に伸びてしまい、視認性が悪く、交通事故につながるおそれがある。雑草を抑制するためにも、除草だけでなく、堆積している土砂の撤去についても検討してほしい。
- ・近年の真夏の猛暑により、夏場の小中学校の体育館は熱中症のリスクが極めて高くなっている。児童が安全・安心に過ごせる教育環境を実現するために、各小中学校の体育館へ空調設備を早期に設置してほしい。
- ・現状、老朽化等により一部の遊具を利用できなくなっている小学校があるが、遊具で遊ぶことを楽しみにしている児童も多いため、小学校の遊具を利用できる環境を整備してほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、土浦市立の小中学校及び義務教育学校の給食費は無償化となっているが、保護者の負担軽減や子育て支援のために、今後も給食費の無償化を継続してほしい。 <p>3. 産業建設委委員会 「周辺環境の整備について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方就職学生支援事業の対象者について、東京圏内に在住している方だけでなく、地方にも在住している方に広げるべきである。 ・ 地方就職学生支援事業や奨学金返還事業について、存在をほとんどの企業が知らない。学生についての周知もだが、企業へ周知をするなど、広く事業の周知を行うように工夫すべきである。 ・ スマートインターチェンジとりんりんロードの親和性を上手く利用すべきである。 ・ 民間事業者の立地促進に関して、立地後の雇用の面についても、市から手厚い補助があってほしい。
<p>その他 特記事項</p>	

令和 8 年 2 月 2 7 日

(報告先) 土浦市議会議長 勝田 達也

土浦市議会議会報告会実施要項第 9 条第 1 項の規定により提出します。

土浦市広報広聴委員会 委員長 矢口 勝雄